

令和5年度予算における主な事業

組合構成市町（犬山市・江南市・大口町・扶桑町）からの分担金及び負担金を主な財源として、令和5年度は次の事業を行います。

なお、令和5年度予算の総額は2億2,171万9千円で、歳出の内訳は議会費131万2千円、総務費7,444万4千円、建設事業費1億4,496万3千円、予備費100万円となっています。

●ごみ処理施設整備工事関係

ごみ処理施設工事	令和10年度の新ごみ処理施設供用開始に向けて設計・建設工事を実施します。令和5年度は、施設の実設計、建設地の樹木伐採等を行います。
設計・施工監理業務	実設計図書が要求水準書等契約条件を満たしていることの確認や、事業者の行う建設工事における工程管理、施工承諾図書の審査、工事検査の立会及び循環型社会形成推進交付金交付申請等に関する支援業務を行います。

●関連業務

出入路詳細設計業務	施設への出入路の渋滞緩和のために、愛知県道浅井犬山線を拡幅して右折レーンを設置します。令和6年度以降の工事着手に向けて、令和4年度に実施した基本設計成果に基づき、道路詳細設計、交差点詳細設計、擁壁詳細設計を実施し、工事発注に必要な設計図などの設計図書及び道路法・道路交通法、河川法等各種法手続き申請図書の作成を行います。
雨水排水路基本設計業務	ごみ処理施設からの雨水を適切に排水するための敷地外雨水排水路整備工事について、事業者から提案された敷地内の雨水排水計画と整合を図りながら、敷地外排水路の構造検討等を行う基本設計、現地測量及び関係機関協議などを行います。
地歴調査業務	建設工事の着手前に、事業地の過去の土地の利用履歴を調査し、指定の有害物質による土壌汚染の恐れの有無を確認します。
環境影響評価事後調査業務	事業用地内で営業が確認されたホンドキツネに対する環境保全措置である、代替営業候補地の整備を継続して行うとともに、工事着手前及び工事施工中におけるホンドキツネの調査を行います。また、専門家へのヒアリングを踏まえ、追加の環境保全措置を実施します。

※当初予算・補正予算・決算の詳細は組合ホームページ（QRコード）からご覧いただけます。



尾張北部環境組合だより

令和5年4月 第11号

発行・編集 尾張北部環境組合

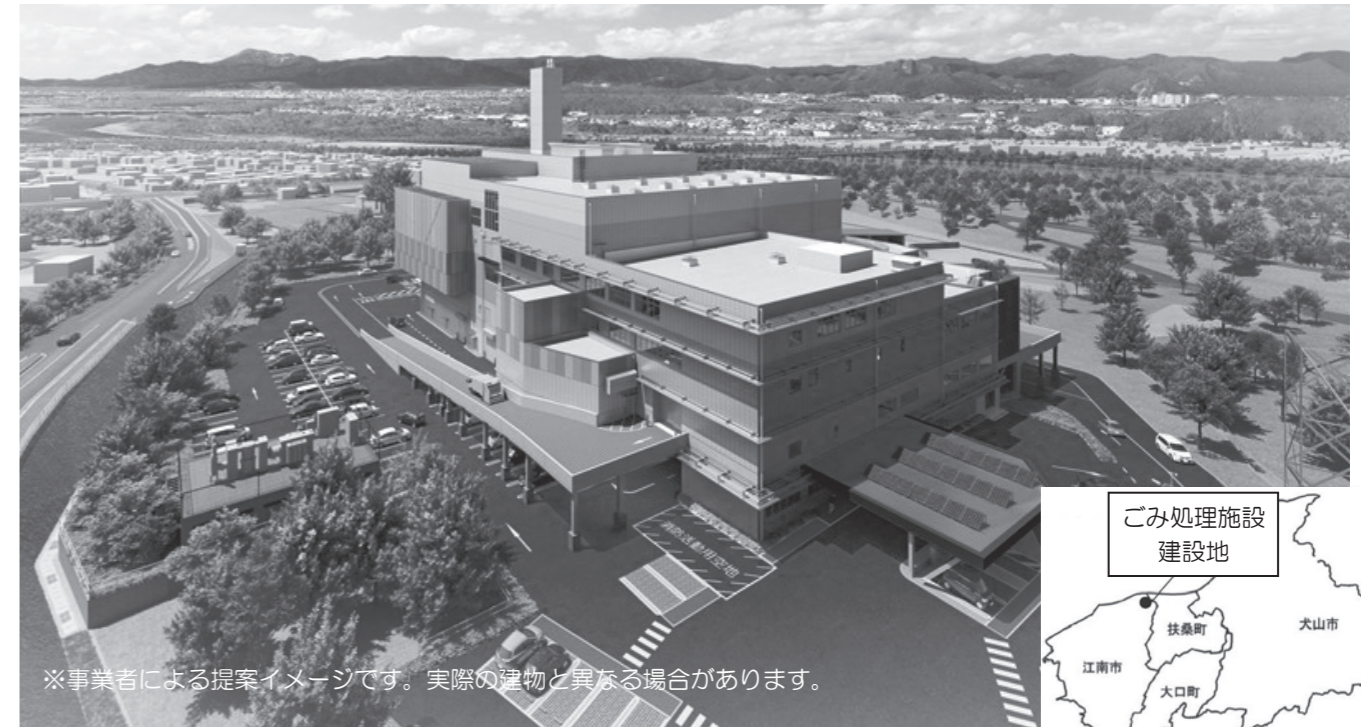
〒483-8221

江南市赤童子町大堀 90 番地（江南市役所内）

TEL 0587-54-1188

<http://www.owarihokubu.jp>

尾張北部環境組合は、犬山市・江南市・大口町・扶桑町のごみを共同で処理する新たなごみ処理施設の整備を推進しています。



※事業者による提案イメージです。実際の建物と異なる場合があります。

ごみ処理施設整備・運営事業者が決定

■事業者

代表企業 三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社中部支店

協力企業 (建設工事関係) (運營業務委託関係)

佐藤工業株式会社名古屋支店

昭和土建株式会社江南支店

松岡建設株式会社

永井建設工業株式会社

株式会社多湖組

尾張北部エコクリエーション株式会社

重環オペレーション株式会社

三重中央開発株式会社

株式会社新栄工業

株式会社油研

株式会社東亜環境コーポレーション

中部リサイクル株式会社

中央電気工業株式会社

■契約金額等

契約金額	364億6,528万1,050円（消費税及び地方消費税を含む）	
内訳	設計・建設業務	213億480万円
	運營業務	151億6,048万1,050円（20年間分）

ごみ処理施設と事業の概要

事業概要

▶事業概要

名称	ごみ処理施設整備・運営事業
事業主体	尾張北部環境組合
処理量	①エネルギー回収型廃棄物処理施設：194t/日(97t/日×2炉) ※可燃ごみを焼却する施設 ②マテリアルリサイクル推進施設：14t/5h×1系列 ※不燃・粗大ごみを処理する施設
事業用地	愛知県江南市中般若町北浦地内
処理方式	全連続燃焼式ストーカ方式
事業方式	①エネルギー回収型廃棄物処理施設 DB+O (Design-Build-Operate) 方式 ※設計から建設、施設運営までを事業者委託 ②マテリアルリサイクル推進施設 DBM (Design-Build-Maintenance) 方式 ※設計、建設、施設維持は事業者委託し、施設運転は組合実施
事業の委託契約期間	1)設計・建設期間：令和5年3月～令和10年3月
	①エネルギー回収型廃棄物処理施設 令和10年4月～令和30年3月(20年間) ②マテリアルリサイクル推進施設 令和10年4月～令和20年3月(10年間)
2)施設運営に関する事業者への委託期間	

▶業務工程 (予定)

項目	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)
● 準備工事 (伐採)	▼令和5年中旬着手					
● 土地造成工事		▼令和6年4月着手				
● 土木建築工事			▼令和6年12月着手			
● プラント工事				▼令和7年12月着手		
● 試運転						▼令和10年4月 供用開始
● 運営期間						→

▶コンセプト：暮らしと環境に寄り添う「水とみどり華やぐエコプラント」

木曽川沿いの豊かな自然・文化と融和するランドスケープを意識した意匠デザインとしています。特に県道に面する南側の施設外壁は、尾張北部地方の歴史・伝統を尊重し、駕籠・竹組をモチーフとして大きくあしらっています。アースカラーの建屋と日射を調整する庇がやさしく景観と調和します。

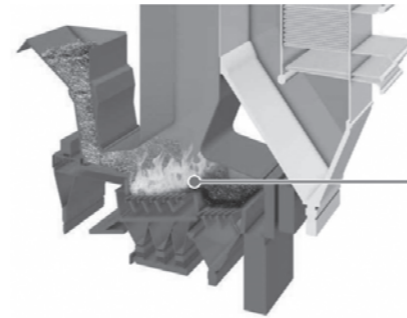


施設外観(南側)

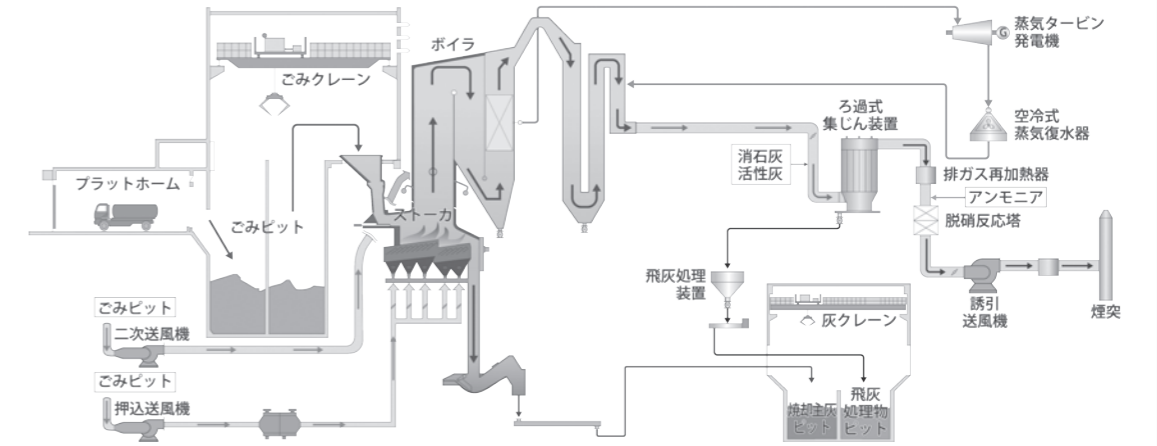
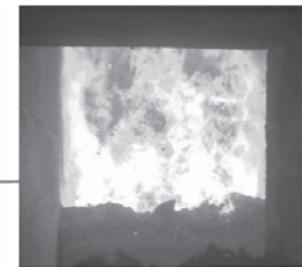
施設概要

▶処理フロー

本施設は最新の一般廃棄物処理技術を導入しており、処理能力97トン/日のストーカ炉2基のほか、CO2排出量削減による環境負荷低減や高効率の発電能力を実現しています。



ごみの攪拌力に優れた逆傾斜ストーカ焼却炉

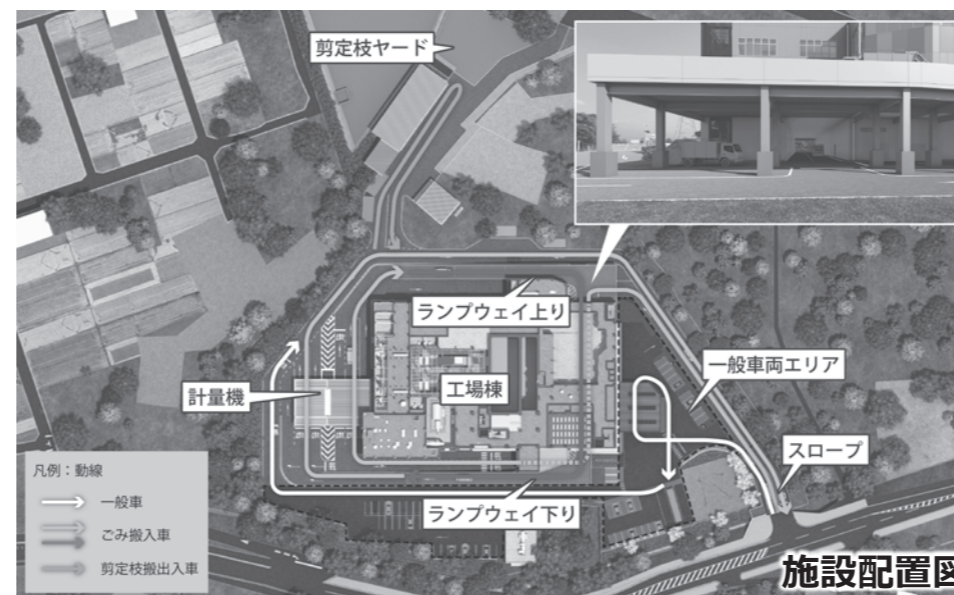


処理システムフロー

▶施設配置動線・見学展示・緑化計画

■施設配置動線計画

計量棟は施設入口から離れた位置に配置し、混雑時の待車スペースを確保します。安全確保のために周回道路は時計回り・プラットホームは通り抜け方式を採用します。また、ランプウェイ（傾斜路）方式を採用し、敷地を立体的に有効活用します。



施設配置図

構内各所には、案内板や道路サインなどを設置し、来場者に構内の車両動線を、分かりやすく案内します。



施設入口部

■見学展示計画

見学空間は、実際に目で見て聞いて触れて学ぶ、五感を刺激する体感展示を通して、地域環境と循環型社会の学びを深める場とします。また、見学ルートには木曽川を眺望できる屋上デッキを設けます。



見学展示イメージ例



屋上デッキ(北側)

■緑化計画

地域の特長を生かした緑化計画を行い、環境保全と生態系ネットワーク形成に配慮した緑づくりに注力します。

「つくる」健全で良質な緑

- ◆要求水準を上回る緑地面積割合24%の達成(6,741㎡)

「まもる」いのちを守る緑

- ◆ピオトープやエコスタックを通して、「生物の移動空間(コリドー)・生息空間」を創出

「いかす」暮らしの質を高める緑

- ◆地域の専門家に植栽計画に入ってもらい、地元の特長や環境をいかす緑化計画の推進

「つなぐ」交流を生み出す緑

- ◆住民参加型の緑づくりや出前教育等の啓蒙活動実施